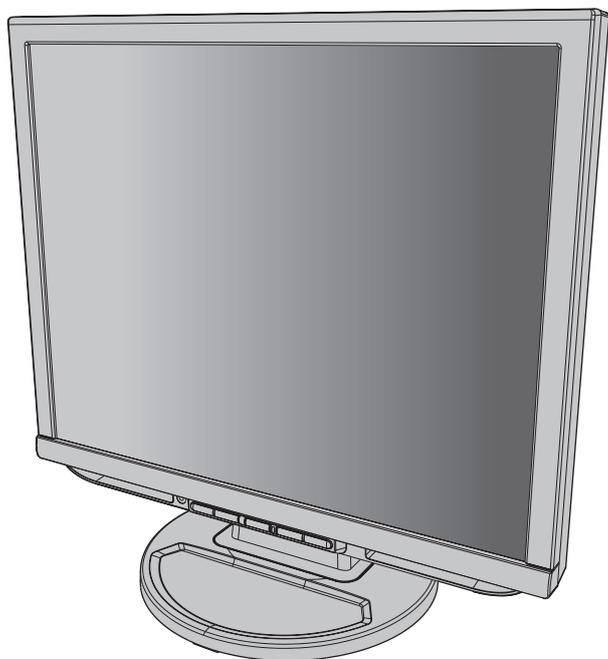


MITSUBISHI

三菱液晶ディスプレイ

Diamondcrysta RDTI7IOLMシリーズ (AB623)

取扱説明書



- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
特に「安全のために必ず守ること」は、液晶ディスプレイをご使用前に必ず読んで正しくお使いください。
- 保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。
- 「セットアップガイド」は「保証書」と共に大切に保管してください。
- 必ず、転倒・落下防止処置を実施してください。→P6,P36 参照
- この取扱説明書内のURLをクリックするとWebサイトへリンクします。

製品登録のご案内

三菱電機では、Webサイトでのアンケートにお答えいただくとお客様に役立つ各種サービスをウェブサイトにて利用できる「製品登録サービス」を実施しております。
詳しくはこちらをご覧ください。

www.MitsubishiElectric.co.jp/mypage

P2 もくじ

P3 ご使用前の前に

P5 安全のために必ず守りください

P8 使用上のお願い

P10 各部のはたらき

P12 使用の準備

P23 機能

P28 困ったとき

P32 付録

インターネットホームページ：www.MitsubishiElectric.co.jp/display

INTERNET INFORMATION & DOWNLOADS SERVICE

【個人のお客様】PCリサイクルマーク申込のご案内
ご注意：法人でご購入いただいた製品は無償提供の対象外です。

個人でディスプレイをご購入いただいたお客様には、無償で「PCリサイクルマーク」を提供しております。
ご購入後、お早めに下記のリサイクル窓口ホームページからお申し込みください。（画面の [PCリサイクルマーク申込](#) からお入りください。）

www.pc-eco.jp

ご使用の前に

ご使用の前に……………	3
何ができるの?……………	3
付属品の確認……………	4
本書の見かた……………	4

安全のために必ず守りください

安全のために必ずお守りください……………	5
警告・注意……………	5

使用上のお願い

使用上のお願い……………	8
ディスプレイの上手な使い方……………	8

各部のはたらき

各部のはたらき……………	10
本体正面……………	10
本体背面……………	11

使用の準備

使用するための流れ……………	12
[準備1] ベーススタンドを取り付ける……………	13
[準備2] ディスプレイとコンピューターを 接続する……………	14
コンピューターを信号ケーブルでつなぐ……………	14
● 接続方法について……………	15
コンピューターをオーディオケーブルで つなぐ……………	16
[準備3] ヘッドフォンを本機につなぐ……………	16
[準備4] 電源コードを本機に接続する……………	17
[準備5] ケーブルをまとめる……………	17
[準備6] 電源プラグのアースリード線 を接地（アース接続）する……………	18
[準備7] AC100Vコンセントに 差し込む……………	18

[準備8] 設置する……………	19
[準備9] 画面の角度の調節をする……………	19
[準備10] 画面調節……………	20
自動調節をする……………	21
[準備11] Windows® セットアップ情報……………	22

機能

OSD機能……………	23
OSDの基本操作……………	23
OSD機能一覧……………	24
主なOSD機能……………	25
OSD機能による画面調節が 必要となる場合……………	26
工場プリセットPCタイミング……………	26
その他機能について……………	27

困ったとき

故障かな?と思ったら……………	28
-----------------	----

付録

本機を廃棄するには……………	32
保証とアフターサービス……………	33
個人情報の取り扱い……………	33
再梱包するとき……………	34
市販のアームを取り付けるとき……………	35
用語解説……………	37
仕様……………	39
TCO'03……………	40
FCC……………	41
さくいん……………	42

ご使用の前に

何ができるの？

省エネ効果が一目でわかる

電力メーター機能 →P24,P25

現在の電力削減状態をインジケータで表示することができます。

また、「電源オン時で削減した電力」「パワーマネジメント機能動作時を含む全てで削減した電力」をそれぞれ積算し「電力1」「電力2」(Wh)として確認できます。

ステレオスピーカー内蔵 (1W+1W)

前面にヘッドホン端子も装備 →P16

画面をお好みの状態に調節/設定できる

OSD(On Screen Display)機能 →P23

画面の明るさ、表示位置やサイズ、カラーなどをOSD画面により調節することができます。OSD機能そのものに関する操作(OSDオートオフ、OSDロックなど)もできます。

画面の角度を調節できる

画面の角度調節機能 →P19

-5° ~+20° の範囲で、お好みの角度に画面を調節できます。

もくじ

ご使用の前に

安全のため

使用上のお願い

各部のサイズ

使用の準備

機能

困ったとき

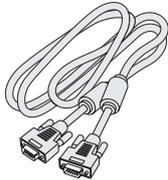
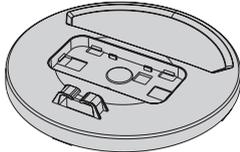
付録

用語解説

いさく

付属品の確認

お買い上げいただいたときに同梱されている付属品は次のとおりです。
 万一不足しているものや損傷しているものがありましたら、販売店までご連絡ください。

セットアップガイド 	電源コード 	信号ケーブル  ミニD-SUB15ピン-ミニD-SUB15ピン	ベーススタンド 
保証書 (梱包箱に 貼り付けて あります。)	オーディオケーブル 		

本書の見かた

本書の表記のしかた

- お願い** : 取扱い上、特に守っていただきたい内容
- お知らせ** : 取扱い上、参考にしていただきたい内容
- PXX** : 参考にしていただきたいページ
 (クリックすると対象ページへ移動します。)

Win Mac : Windows®とMacintosh両方に関わる内容

Win : Windows®のみに関わる内容

Mac : Macintoshのみに関わる内容

知りたいことを探すために

- やりたいことから探す→「何ができるの?」 **→P3**
- 言葉と意味で探す→「用語解説」 **→P37**
- もくじで探す→「もくじ」 **→P2**
- さくいんで探す→「さくいん」 **→P42**

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取扱いをしてください。
 本機は付属の電源コードおよび信号ケーブルを使用した状態でVCCI基準に適合しています。



当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

本製品は社団法人電子情報技術産業協会が定めた「表示装置の静電気および低周波電磁界」に関するガイドラインに適合しています。



本製品はPC3R「PCグリーンラベル制度」の審査基準(2008年度版)を満たしています。
 詳細は、Webサイト：www.pc3r.jp をご覧ください。



本製品は「J-Mossグリーンマーク・ガイドライン」に基づくJ-Mossグリーンマークを表示しています。
 「J-Moss(JIS C 0950)」に基づく特定の化学物質(鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、PBB、PBDE)の含有状況についての情報を公開しています。
 詳細は、ウェブサイト：www.MitsubishiElectric.co.jp/home/display/environment をご覧ください。
 形名： RDT1710LM / RDT1710LM(BK)

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
- 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気付きの点がありましたらご連絡ください。

VERSEO, Diamondcrysta, Diamondcrysta WIDE, DIATONEは、三菱電機株式会社の登録商標です。
 Microsoft, Windows Vista, Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
 MacintoshはApple社の米国等における登録商標です。
 その他、この取扱説明書に記載された社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

安全のために必ずお守りください

この取扱説明書に使用している表示と意味は次のようになっています。
誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの	 注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの
---	---	---	-------------------------------------

図記号の意味は次のとおりです。

	絶対に行わない		必ず指示に従いおこなってください。
	絶対に分解・修理・改造はしない		必ずアースリード線を接地（アース）する
	必ず電源プラグをコンセントから抜く		高圧注意（本体後面に表示）
	絶対に水にぬらさない		絶対に触れない
	絶対に濡れた手で触れない		挟みこみに注意する

●ご使用前に、この欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。

警告

万一異常が発生したときは、電源プラグをすぐ抜く!!		
異常のまま使用すると、火災・感電の原因になります。 すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に修理をご依頼ください。 <div style="text-align: right;">  プラグを抜く </div>		
<p>故障（画面が映らないなど）や煙、変な音・においがするときは使わない</p> <div style="text-align: right;">  使用禁止 </div> <p>火災・感電の原因になります。</p>	<p>裏ぶたをはずさない</p> <div style="text-align: right;">  高圧注意 分解禁止 </div> <p>内部には電圧の高い部分があり、さわると感電の原因になります。</p>	<p>傾斜面や不安定な場所に置かない</p> <div style="text-align: right;">  禁止 </div> <p>落ちたり、倒れたりしてけがの原因になります。</p>
<p>電源コードを傷つけない</p> <p>熱器具のそば やぶれ 下敷き コードをひっぱる</p> <div style="text-align: right;">  傷つけ禁止 </div> <p>重いものをのせたり、熱器具に近づけたり、無理に引っ張ったり、折り曲げたまま力を加えたりしないこと。コードが破損して火災・感電の原因になります。</p>	<p>キャビネットを破損したときは使わない</p> <div style="text-align: right;">  使用禁止 </div> <p>火災・感電の原因になります。</p>	<p>異物をいれない 特にお子さまにご注意</p> <div style="text-align: right;">  禁止 </div> <p>火災・感電の原因になります。</p>
<p>アース線を接続する</p> <p>アース線を接続しないと故障のときに感電の原因になります。</p> <p style="text-align: right;">アース線を接続せよ</p> <div style="text-align: right;">  </div> <p>アース接続は必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前におこなってください。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてからおこなってください。</p>	<p>風呂場や水のかかるところに置かない</p> <div style="text-align: right;">  水ぬれ禁止 </div> <p>水などが液晶ディスプレイの内部に入った場合はすぐに本体の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてお買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、故障・火災・感電などの原因になります。</p>	<p>アースリード線を挿入・接触しない</p> <div style="text-align: right;">  禁止 </div> <p>電源プラグのアースリード線を電源コンセントに挿入・接触させると火災・感電の原因になります。</p>

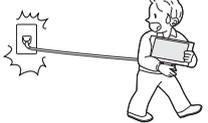
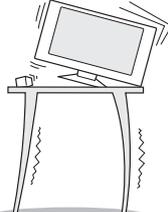
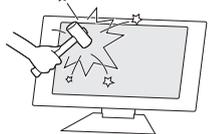
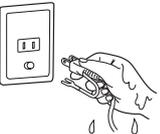
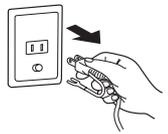
もくじ
 ご使用前に
 安全のため
 お願いの上
 各部のた
 らき
 使用の準備
 機能
 困ったとき
 付録
 解用説語
 いさんく

警告

<p>正しい電源電圧で使用する</p> <p>指定の電源電圧以外で使用すると火災・感電の原因になります。一般のご家庭のコンセント(AC100V)でお使いいただくための電源コードを添付しております。AC100V以外(最大AC240V)でご使用の際には、お使いになる電圧に適した電源コードをご準備の上お使いください。</p> <p>本機に添付している電源コードは本機専用です。</p> <p>安全のため他の機器には使用できません。</p>	<p>修理・改造をしない</p> <p>けが・火災・感電の原因になります。</p> <p> 修理・改造禁止</p>	<p>液晶を口にしない</p> <p>液晶パネルが破損し、液晶が漏れ出た場合は、液晶を吸い込んだり、飲んだりすると、中毒を起こす原因になります。</p> <p>万一口に入ってしまったり、目に入ってしまった場合は、水でゆすいでいただき、医師の診断を受けてください。</p> <p>手や衣類に付いてしまった場合は、アルコールなどで拭き取り、水洗いしてください。</p> <p> 警告</p>
	<p>ポリ袋で遊ばない</p> <p>特にお子さまにご注意</p> <p>本体包装のポリ袋を頭からかぶると窒息の原因になります。</p> <p> 禁止</p>	
	<p>雷が鳴り出したら、電源プラグには触れない</p> <p>感電の原因になります。</p> <p> 接触禁止</p>	

注意

設置のときは次のことをお守りください。
風通しが悪かったり、置き場所によっては、内部に熱がこもり、火災や感電の原因になります。
地震などでの製品の転倒・落下によるけがなどの危害を軽減するために、転倒・落下防止対策をおこなってください。

<p>狭い所に置かない</p> <p>  設置禁止</p>	<p>あお向けや横倒し、さかさまにしない</p> <p>  禁止</p>	<p>直射日光や熱器具のそばに置かない</p> <p>  設置禁止</p>
<p>布などで通風孔をふさがない</p> <p>  禁止</p>	<p>屋外での使用禁止</p> <p>  屋外での使用禁止</p>	<p>湿気やほこりの多い所、油煙や湯気の当たる所に置かない</p> <p>  設置禁止</p>
<p>車載用禁止</p> <p>車載用など移動用途には使用できません。故障の原因になることがあります。</p> <p> 禁止</p>	<p>接続線をつけたまま移動しない</p> <p>火災・感電の原因になります。電源プラグや機器間の接続線ははずしたことを確認の上、移動してください。</p> <p>  禁止</p>	<p>転倒・落下防止対策をおこなう。</p> <p>転倒・落下防止器具を取り付ける壁や台の強度によっては、転倒・落下防止効果が大幅に減少します。その場合は、適当な補強を施してください。また、転倒・落下防止対策は、けがなどの危害の軽減を意図したものです。全ての地震に対しての効果を保証するものではありません。</p> <p>  転倒・落下を防止する</p> <p>設置台を補強する 丈夫なロープで製品を壁とつなぐ</p>
<p>液晶パネルに衝撃を加えない</p> <p>破損してけがや故障の原因になります。</p> <p>  禁止</p>	<p>ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない</p> <p>感電の原因になります。</p> <p>  ぬれ手禁止</p>	
<p>電源プラグを持って抜く</p> <p>コードを引っ張ると傷がつき、火災・感電の原因になります。</p> <p>  プラグを持つ</p>		

⚠ 注意

<p>電源プラグを奥までさしこむ しっかりと差し込まれていないと火災・感電の原因となることがあります。</p>   <p style="text-align: center;">しっかり差し込む</p>	<p>お手入れの際は電源プラグを抜く 感電の原因になります。 During servicing, disconnect the plug from the socket-outlet.</p>  <p style="text-align: center;">プラグを抜く</p>
<p>液晶ディスプレイを廃棄する場合 液晶ディスプレイに使用している蛍光管（バックライト）には水銀が含まれています。ご自身で廃棄しないでください。本機を廃棄する場合は、資源有効利用促進法に基づく、回収・リサイクルにご協力ください。（→P32 本機を廃棄するには）環境や健康に悪影響をあたえる原因になります。</p>	<p>スタンドに手を挟まない 角度調節時、取り付け、取り外し時に手を挟むとけがの原因になります。</p>  <p style="text-align: center;">手の挟みこみに注意</p>
<p>1年に一度は内部掃除を 内部にほこりがたまったまま使うと、火災や故障の原因になります。 内部掃除は販売店にご依頼ください。</p>   <p style="text-align: center;">内部掃除</p>	<p>長期間の旅行、外出のときは電源プラグを抜く 火災の原因となることがあります。</p>   <p style="text-align: center;">プラグを抜く</p>
	<p>電源プラグのほこりなどは定期的にとる 火災の原因になります。 1年に一度は電源プラグの定期的な清掃と接続を点検してください。</p>   <p style="text-align: center;">ほこりを取る</p>

もくじ
 ご使用の前に
 安全のため
 お使いの上
 は各部の
 使用の備
 機能
 と困った
 付録
 用語説
 いく

ディスプレイの上手な使い方

長時間同じ画面を表示しない

長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面表示が残ること（残像）がありますが故障ではありません。画面表示を変えることで徐々に解消されますが、あまり長時間同じ画面を表示すると消えなくなりますので、同じ画面を長時間表示するような使い方は避けてください。「スクリーンセーバー」などを使用して画面表示を変えたり、使用していないときは省電力モードにするか、電源をオフすることをおすすめします。



長時間同じ画面を表示しない

日本国内専用です

この液晶ディスプレイは日本国内用として製造・販売しています。

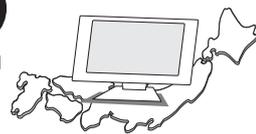
日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。また、この製品に関する技術相談、アフターサービス等も日本国外ではおこなっていません。

This color monitor is designed for use in Japan and can not be used in any other countries.



国内専用

For use in Japan only



キャビネットのお手入れ

お手入れの際は電源プラグを抜いてください。柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときには水でうすめた中性洗剤に浸した布をよくしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。



プラグを抜く

液晶パネルのお手入れ

パネル表面は傷つきやすいので、固いもので押しったりこすったりしないように、取り扱いには十分注意してください。パネル表面は触指などにより汚れることのないようご注意ください。パネル表面が汚れた場合には、乾いた布で軽くふきとってください。またきれいな布を使用されるとともに、同じ布の繰り返し使用はお避けください。



溶剤を使用される場合は以下のものを推奨いたします。その際は溶剤が残らないようにしてください。（水、エタノール、イソプロピルアルコール）

推奨以外の溶剤（酸、アルカリ、アセトン等）は使用しないでください。溶剤類や水滴等が液晶ディスプレイ内部に入ったり表示面以外の液晶ディスプレイ表面に付着すると製品を破壊する恐れがありますのでご注意ください。

キャビネットを傷めないために

キャビネットの表面はプラスチックが多く使われています。ベンジンやシンナー、アルカリ性洗剤、アルコール系洗剤、ガラスクリーナー、ワックス、研磨クリーナー、粉石鹸などでふいたり、殺虫剤をかけたたりしないでください。変質したり、塗料がはげる原因となります。（化学ぞうきんご使用の際は、その注意書きに従ってください。）また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。キャビネットが変色したり、変質するなどの原因となります。



使用禁止

上手な見方

画面の位置は、目の高さよりやや低く、目から約40～70cmはなれたぐらいが見やすく目の疲れが少なくなります。明るすぎる部屋は目が疲れます。適度な明るさの中でご使用ください。また、連続して長い時間、画面を見ていると目が疲れます。

もくじ

ご使用の前に

安全のため

使用上のお願い

各部の寸法

使用の準備

機能

困ったとき

付録

用語解説

いさく

電波妨害について

本機は規格を満たしていますが若干のノイズが出ています。「ラジオ」や「コンピューター」などの機器に本機を近づけると互いに妨害を受けることがあります。その場合は、機器に影響のないところまで本機から離してください。

搬送について

- 引っ越しや修理などで本機を運搬する場合は、本機用の梱包箱と緩衝材および包装用のシートや袋をご用意ください。
- 本機用は立てた状態で運搬してください。横倒しにして運搬した場合、液晶パネルのガラスが破損したり、点欠陥が増加する場合があります。

液晶パネルについて

- 液晶ディスプレイは精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや常時点灯しているドットがある場合があります。これは故障ではありません。本製品の有効ドット数の割合は99.9995%以上です。

お知らせ

有効ドット数の割合とは、「対応するディスプレイの表示しうる全ドット数のうち、弊社で保証する表示可能なドット抜けの割合を示しています。

「画素」および「ドット」という言葉はISO13406-2に従い、正確に表現すると、「画素」は「ピクセル(pixel)」、「ドット」は「副画素」とも呼ばれ「サブピクセル(subpixel)」となります。

つまり、「画素」は実態のある副画素と言われる発光する点から構成され、「副画素」は、画素に色または階調を与えるもので、一つの画素内で個別に処理される分割された画素内部構造を示します。

- 液晶パネルが汚れた場合は、脱脂綿か柔らかい布で拭き取ってください。素手で触らないでください。
- 液晶パネルに水滴などがかかった場合は、すぐに拭き取ってください。そのまま放置すると液晶パネルの変質、変色の原因になります。
- 液晶パネルを傷つけないでください。硬いもので液晶パネルの表面を押ししたり、ひっかいたりしないでください。

- お客様または第三者が本機を誤使用、使用中に生じた故障やその他の不具合または本機の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

もくじ

ご使用の前に

安全のため

ご使用上のお願い

各部分のき

使用準備

機能

と困った

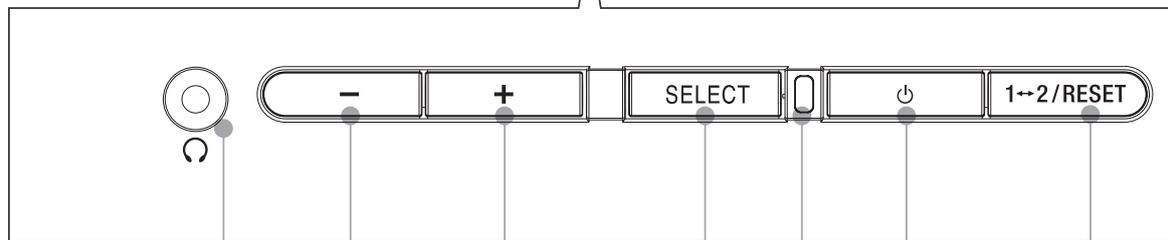
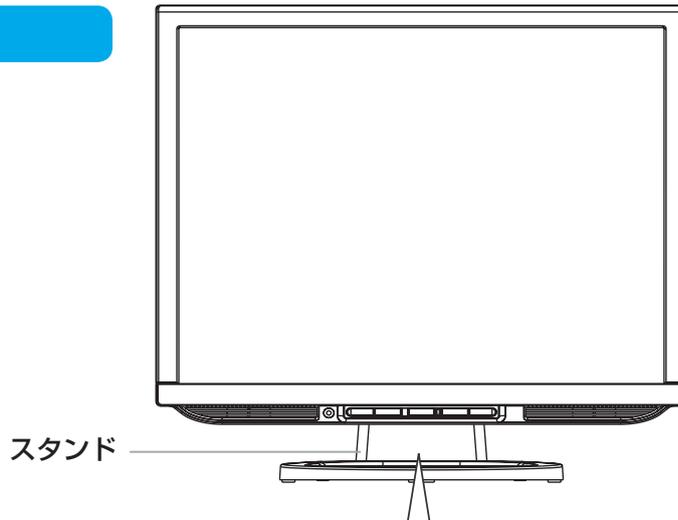
付録

解用説語

いさく

各部のはたらき

本体正面



ヘッドホン端子

ヘッドホン端子にヘッドホンを接続して使用できます。

SELECTボタン

OSD画面が表示されていないとき
OSD画面を表示します。
OSD画面が表示されているとき
選んだ調節項目を決定します。

電源スイッチ

電源をオン/オフするときに押します。

お願い

電源を短時間のうちにひんぱんにオン/オフしないでください。故障の原因となることがあります。

-ボタン

OSD画面が表示されていないとき（ホットキー機能）
ブライトネス調節画面を表示します。
OSD画面が表示されているとき
「SELECT」ボタンで調節項目を選んだあと、このボタンを押して好みの画面に調節します。

+ボタン

OSD画面が表示されていないとき（ホットキー機能）
音量調節画面を表示します。
OSD画面が表示されているとき
「SELECT」ボタンで調節項目を選んだあと、このボタンを押して好みの画面に調節します。

電源ランプ

電源を入れたとき
電源ランプは緑色に点灯します。
パワーマネージメント機能が作動中は橙色に点灯します。 →P27

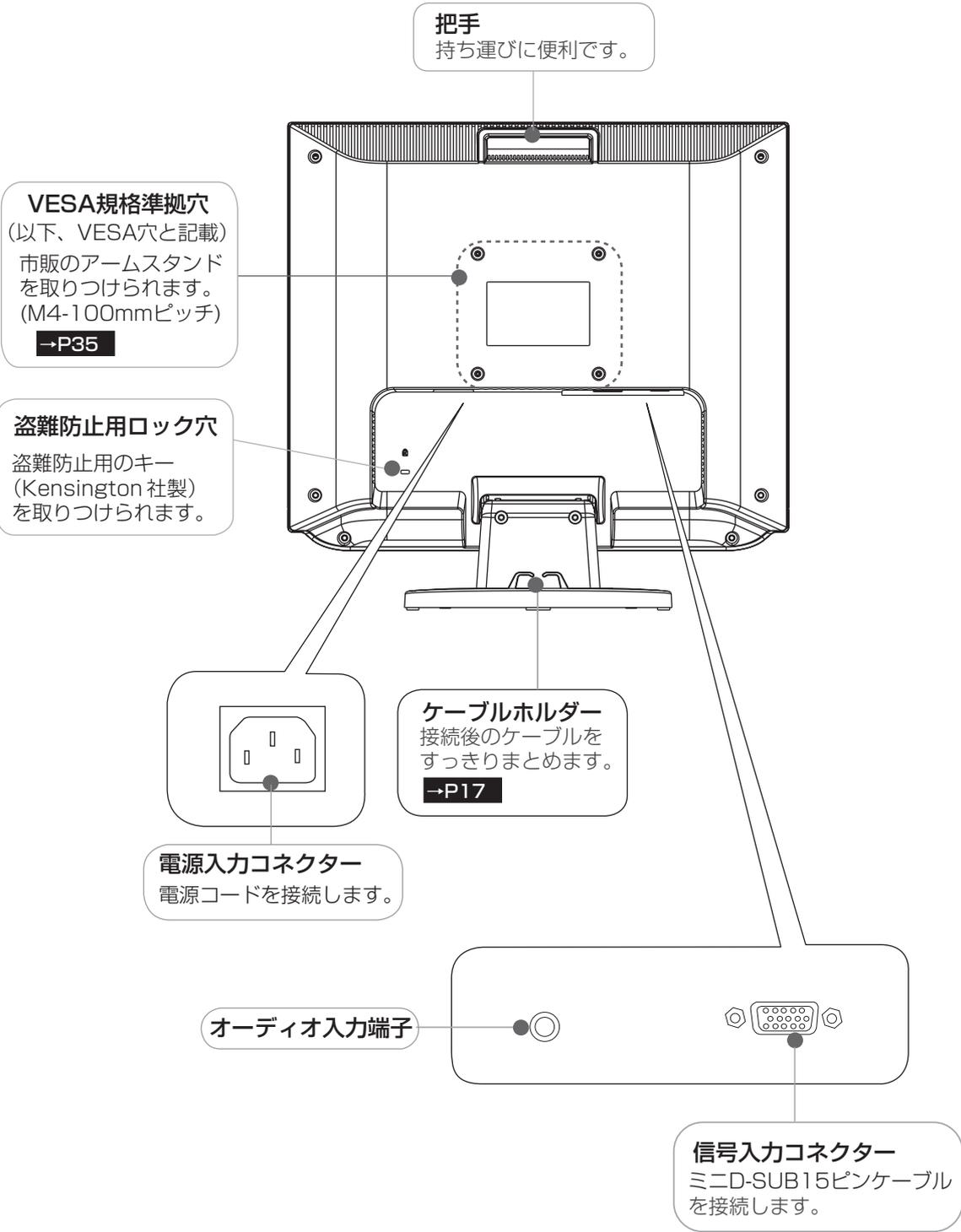
1⇔2/RESETボタン

OSD画面が表示されていないとき
信号入力コネクタを選択します。
OSD画面が表示されているとき
現在表示中のメニュー内の項目のリセット画面を表示します。

お知らせ

●各ボタンによる詳しいOSD画面の操作については「OSD画面の基本操作」 →P23 をご覧ください。

本体背面



もくじ

ご使用の前に

安全のため

使用上のお願い

各部のはたらき

使用準備

機能

と困った

付録

解用説語

いさく

使用の準備

使用するための流れ

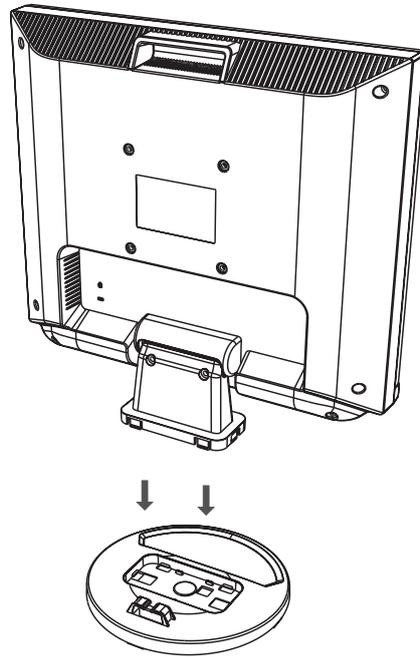


これでコンピューターとディスプレイの準備は終わりです。

もくじ
ご使用前に
安全のため
お使用上の
各部分の
使用の準備
機能
困った
とき
付録
用語説明
いさく

[準備1] ベーススタンドを取り付ける

図のように水平な机の上にベーススタンドを置いてください。ベーススタンドのくぼみに本体スタンド部をあわせ、奥まで「カチッ」と音がするまでしっかりさし込んでください。



⚠ 注意

ベーススタンドと本体スタンド部が確実に取り付けられていないと本体が斜めになったり外れたりする恐れがあります。取り付けの際にベーススタンドと本体スタンドの四隅に段差がなく均一な面になっていることを確認してください。ベーススタンドに本体を取り付ける際に指をはさまないように注意してください。

もくじ

ご使用の
前に

安全の
ため
・
た

使用上の
お願い

各部の
はたらき

使用の
準備

機能

と困った
とき

付録

用語
解説

いさく

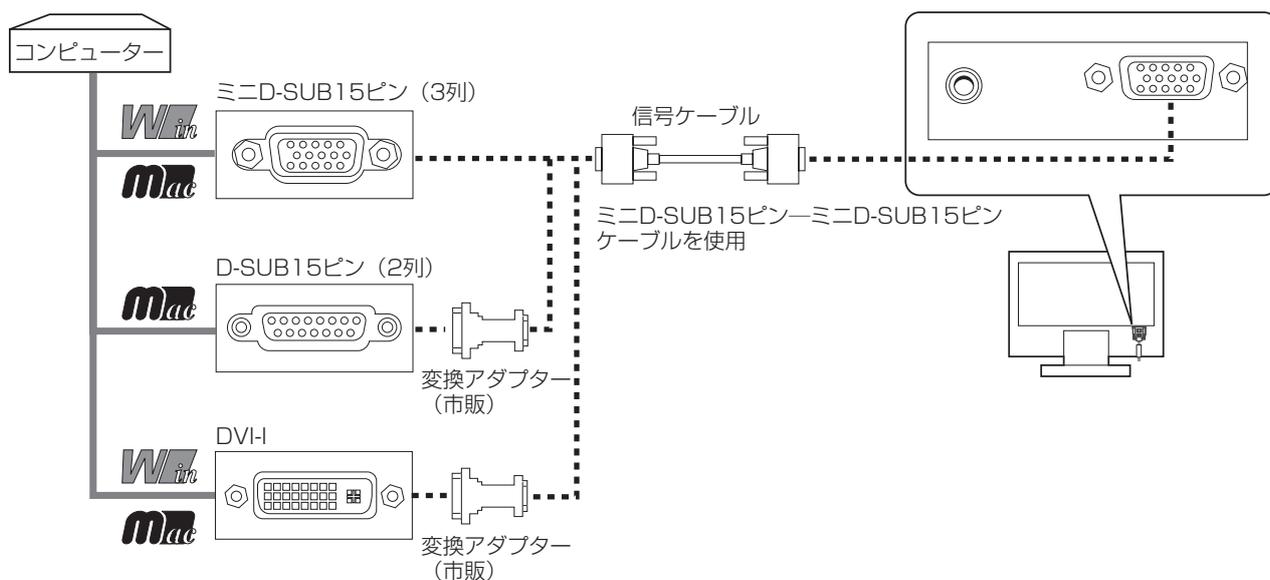
コンピューターと信号ケーブルでつなぐ

お願い

- 信号ケーブルを接続する前に、本機、コンピューターおよび周辺機器の電源を切ってください。

お知らせ

- 画面を下方に傾けた方がケーブル類の接続が簡単におこなえます。
信号ケーブルおよび変換アダプターは、接続後必ずそれぞれの固定ネジで確実に固定してください。

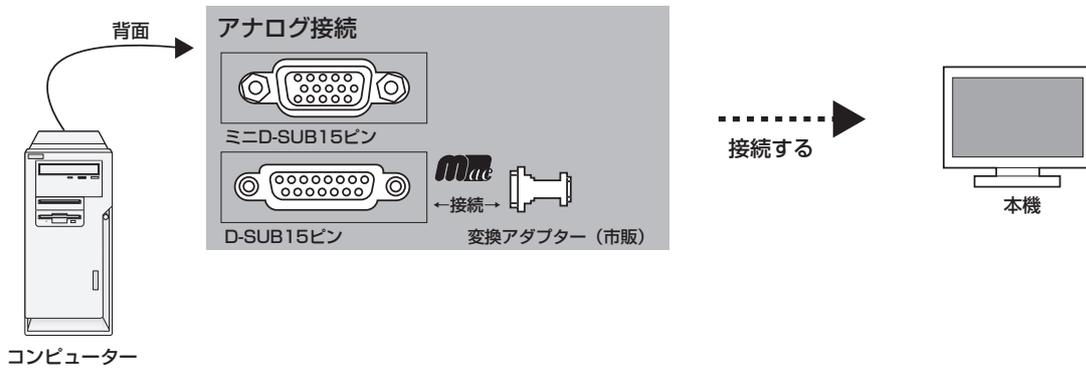


※ Apple Macintoshシリーズコンピューターは、モデルによりアナログRGB出力コネクタが異なります。

[準備2] ディスプレイとコンピューターを接続する (つづき)

接続方法について

本機の信号入力コネクタは、アナログ信号（ミニD-SUB15ピン）に対応しています。ご使用のコンピューターの出力端子の形状をお確かめになり、本機の信号コネクタに接続してください。それぞれの接続に対応したケーブルをご使用ください。



接続コネクタと信号ケーブル対応表

コンピューター側	ディスプレイ側	ミニD-SUB15ピン (アナログ)
DVI-I (アナログ接続/デジタル接続)		ミニD-SUB15ピン—ミニDSUB15ピンケーブルで接続 (市販の変換アダプターが必要)
DVI-D (デジタル接続)		接続できません
ミニD-SUB15ピン (アナログ接続) (3列)		ミニD-SUB15ピン—ミニD-SUB15ピンケーブルで接続
D-SUB15ピン (アナログ接続) (2列)		ミニD-SUB15ピン—ミニDSUB15ピンケーブルで接続 (市販の変換アダプターが必要)

DVI-I: デジタル入力とアナログ入力の両方に対応しているDVI端子。どちらかの入力を接続するケーブルによって使い分けが可能

DVI-D: デジタル入力のみに対応しているDVI端子

DVI-A: アナログ入力のみに対応しているDVI端子

※ Apple Macintoshシリーズコンピューターは、モデルによりアナログRGB出力コネクタが異なります。

もくじ

ご使用の前に

安全のため

お使用の上

は各部分の

使用の準備

機能

と困った

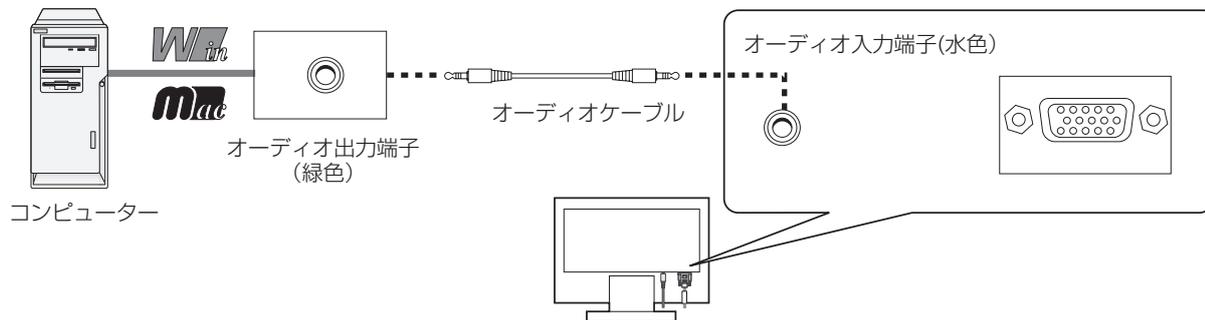
付録

解用説語

いさく

[準備2] ディスプレイとコンピューターを接続する (つづき)

コンピューターをオーディオケーブルでつなぐ



お知らせ

- コンピューター側の接続方法については、コンピューターの取扱説明書もあわせて参照ください。
- オーディオケーブルは付属品あるいはステレオミニプラグ付きの抵抗無しのものでご使用ください。抵抗有りのオーディオケーブルを使用した場合、音量が大きくならなかったり、音声が出ない場合があります。

[準備3] ヘッドホンをつなぐ [必要に応じて]

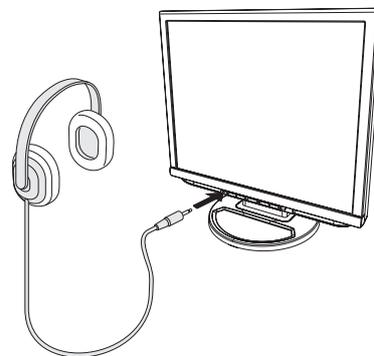
本機のヘッドホン端子にヘッドホンを接続してご使用できます。

⚠ 注意

- ヘッドホンを耳にあてたまま接続しないでください。音量によっては耳を傷める原因となります。
- ヘッドホンをご使用の際は、音量を上げすぎないようにご注意ください。大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

お知らせ

- 本機に接続できるのは、ステレオミニプラグ付のヘッドホンです。お持ちのヘッドホンのプラグが大きくて入らないときは、オーディオショップなどで「ステレオ標準プラグ→ステレオミニプラグ」変換プラグ (市販) をご使用ください。
- ヘッドホンを接続するとスピーカーからの音は消えます。



もくじ

ご使用にの

め安全のた

お使用上の

は各部のき

使用の準備

機能

とき

付録

解用説語

いさく

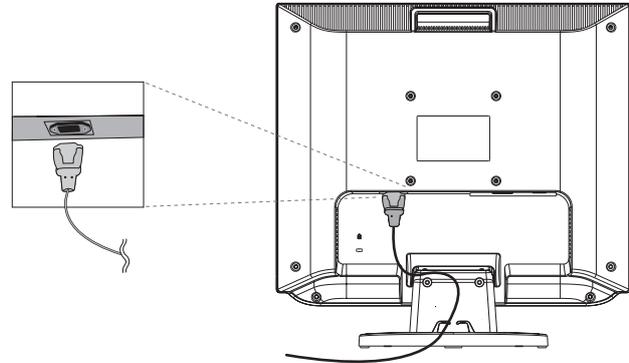
[準備4] 電源コードを本機に接続する

お願い

- コンピューター本体の電源コンセントに接続するときは、電源容量を確認してください。（1.0A以上必要です。）
- 電源コードは本体に接続してから電源コンセントに差し込んでください。

1 電源コードの一方の端を、本機の電源入力コネクタに差し込む

奥までしっかりと差し込んでください。

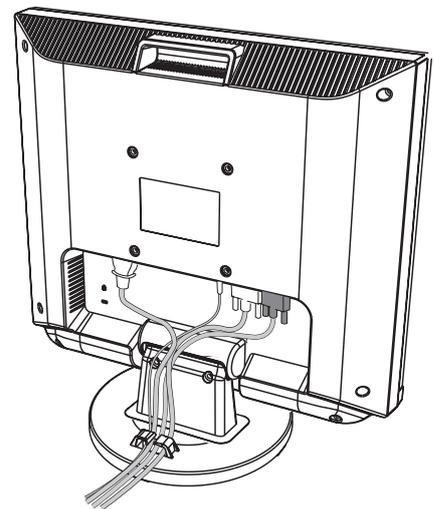


[準備5] ケーブルをまとめる [必要に応じて]

1 本機背面に接続した電源コード、信号ケーブル、オーディオケーブルを、スタンドのケーブルホルダーを使ってまとめる

お願い

- 画面を下方に傾けた状態でケーブル類はケーブルホルダーでまとめてください。設置後、画面を上向きに傾けたときに必要なケーブルの長さが確保されます。
- 本機の角度を調整し、ケーブル類に十分な余裕があるかどうかを確認してください。
- ケーブルホルダー部へは、細いケーブルから順番に入れて、電源コードを最後に挿入するとホルダーから外れにくくなります。



もくじ

ご使用の前に

安全のため

ご使用上のお願い

各部のサイズ

使用の準備

機能

と困ったとき

付録

解用説語

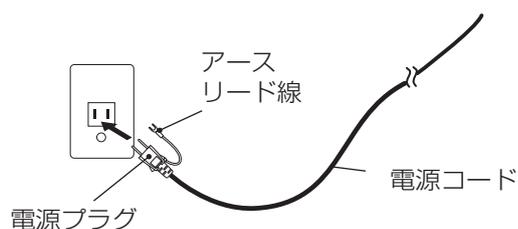
いさく

[準備6]

電源プラグのアースリード線を接地（アース接続）する

[準備7]

電源プラグをAV100V電源コンセントに差し込む



お願い

- 電源コンセントの周辺は、電源プラグの抜き差しが容易なようにしておいてください。
This socket-outlet shall be installed near the equipment and shall be easily accessible.

警告

- 表示された電源電圧以外で使用しないでください。火災・感電の原因になります。
- 本機には一般のご家庭のコンセント（AC100V）でお使いいただくための電源コードを添付しております。AC100V以外（最大AC240V）でご使用の際には、お使いになる電圧に適した電源コードをご準備の上お使いください。
- 電源プラグのアースリード線は必ず接地（アース）してください。
なお、アース接続をはずす場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてからおこなってください。
また、電源プラグのアースリード線は電源コンセントに挿入または接触させないでください。火災・感電の原因となります。
- 本機に添付している電源コードは本機専用です。安全のため他の機器には使用しないでください。

もくじ

ご使用にの

め安全のた

お使用上の

は各部分の

使用の準備

機能

困った

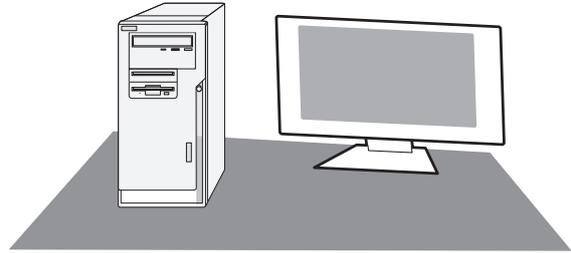
付録

解用説語

いさく

[準備8] 設置する

ディスプレイ画面が見やすく、傾いていない平らで安定している場所に設置します。



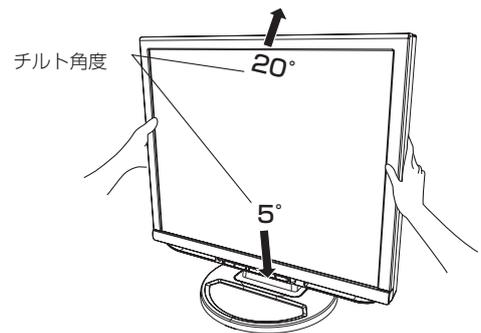
[準備9] 画面の角度を調節する [必要に応じて]

1 角度を調節する

お好みに合わせて本機の角度を調節してください。
右図のように見やすい角度に調節します。

⚠ 注意

角度調節時に、手を挟まないように気をつけてください。
けがの原因となることがあります。



液晶画面を押さないようにしてください。

もくじ

ご使用の前に

安全のため

使用上のお願い

各部のき

使用の準備

機能

と困った

付録

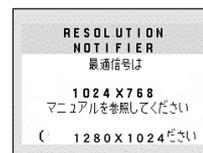
用語説明

いさく

1 本機およびコンピューターの電源を入れる

2 画面の調節をおこなう

「自動調節をする」→P21 の手順にしたがって自動調節をしてください。
自動調節をおこなってもうまく表示されない場合は「OSD機能一覧」→P24 を
ご覧になり、手動で調節してください。



RESOLUTION NOTIFIERの案内画面

お知らせ

- 最適な解像度以外の信号を入力している場合、RESOLUTION NOTIFIERの案内画面が表示されます。解像度を変えずにこのままご使用になる場合、この案内画面を表示させなくすることができます。
OSDの「ツール」：「RESOLUTION NOTIFIER」→P24 で設定できます。

もくじ

ご使用
前の

安全の
た

使用上の
の

各部の
き

使用の
準備

機能

困った
とき

付録

用語
説明

いさく

自動調節をする

本機をコンピューターと接続したときは、最初に自動調節をおこないます。その後、さらに調節をおこなう必要がある場合は各調節項目を個別に調節してください。 →P24

自動調節はコントラストの自動調節と表示位置、水平サイズや位相の自動調節の2つに分かれています。2つともおこなってください。

お知らせ

- 自動調節は適切な画面を表示するよう、画面のコントラスト、表示位置、水平サイズや位相を自動で調節します。
- OSD画面を表示する方法など、操作のしかたの詳細については、「OSD画面の基本操作」 →P23 をご覧ください。

1 本機およびコンピューターの電源を入れる

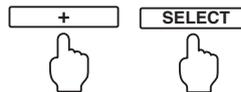
2 画面全体にダウンロードしたのテストパターン →P22 またはワープロソフトの編集画面などの白い画像を表示する

3 液晶ディスプレイ前面の「SELECT」ボタンを押し、OSDメニューを表示します。



4 コントラストの自動調節をおこなう

① 「+」ボタンを押し、オートコントラストにカーソルを移動し、「SELECT」ボタンを押しします。



② 「1⇔2/RESET」ボタンを押します。コントラストの自動調節が実行されます。自動調節中は「実行中」の文字が表示されます。

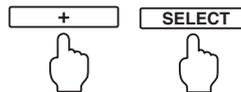


自動調節画面

「実行中」の文字が消えたら調節完了です。手順5に進みます。

5 表示位置、水平サイズ、位相の自動調節をおこなう

① コントラストの自動調節が終わったら、「+」ボタンを押し、「自動調節」にカーソルを移動し「SELECT」ボタンを押しします。



② 「1⇔2/RESET」ボタンを押します。左右の表示位置、上下の表示位置、水平サイズ、位相の自動調節が実行されます。自動調節中は「実行中」の文字が表示されます。



自動調節画面

「実行中…」の表示が消え、アイコンの選択画面が表示されたら、調節完了です。これですべての自動調節が完了しました。

6 以下の手順でOSDメニューを消してください。

- ① 「+」ボタンを押して「EXIT」のアイコンにカーソルを移動します。
- ② 「SELECT」ボタンを押し、OSDメニューを消します。

お願い

- DOSプロンプトのように文字表示のみの場合や画面いっぱい画像が表示されていない場合は、自動調節がうまく機能しない場合があります。この場合は、手動調節でお好みの画面に調節してください。
- コンピューターやビデオカード、解像度によっては、自動調節がうまく機能しない場合があります。この場合は、手動調節でお好みの画面に調節してください。
- 白い部分が極端に少ない画像の場合は、自動調節がうまく機能しない場合があります。

もくじ

ご使用の前に

安全のため

ご使用上のお願い

各部のき

使用の準備

機能

と困った

付録

解用説語

いさく

セットアップ情報をご使用のコンピューターにインストールすることで、最大解像度や垂直周波数等がディスプレイの能力に合わせて設定できるようになります。

本機をはじめてコンピューターに接続したときには、セットアップ情報を下記の当社ホームページからダウンロードしてコンピューターへインストールしてください。

Windows® 95/98/Me/2000/XP, Windows Vista® 用の設定ファイル情報は、下記の当社インターネットホームページからダウンロードしてください。

www.MitsubishiElectric.co.jp/home/display/download

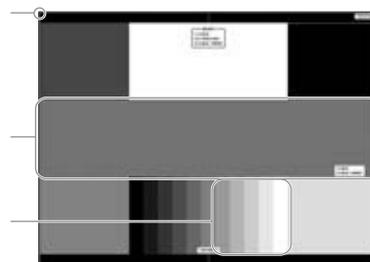
テストパターン

テストパターンは上記の当社インターネットホームページからダウンロードしてください。
このテストパターンはアナログ接続した場合の画面調節するときを使用します。
ご使用方法については、ダウンロードした README をご覧ください。

画面調節メニューの左／右または下／上の項目で調節をおこない、
白い枠が完全に見えるようにする。 →P24

画面調節メニューの水平サイズまたは位相の項目で調節をおこない、
白黒の縦じまがはっきりと見えるようにする。 →P24

ブライツネス・コントラストメニューのコントラストで調節をおこない、
白の階調差が見えるようにする。 →P24



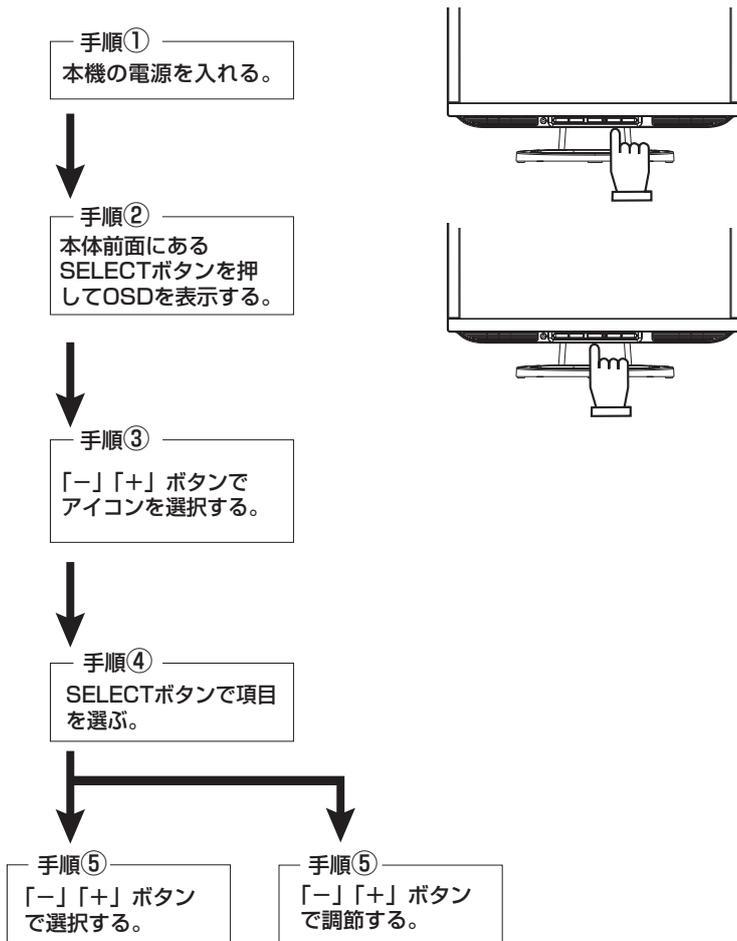
テストパターン表示画面

OSD機能

本機には画面の調節が簡単にできるOSD（On Screen Display）機能がついています。OSD機能により画面上に表示されるメニューを操作し、明るさなどの画面調節などをおこないます。

OSDの基本操作

OSD 画面は、以下に示すような構成になっています。



その他、OSDで操作方法を表示している場合はそれに従ってください。

お知らせ

上記のボタンのいずれも押さずOSDオートオフで設定された時間が経過するとOSD画面は自動的に消えます。（工場設定は45秒です。）

OSD機能一覧

アイコン	内 容	
ミュート時 音量	スピーカーの音量を調節します。 「RESET」ボタンを押すと、MUTE (消音) 状態になります。 もう一度「RESET」ボタンを押すと、MUTE (消音) 状態はOFFになります。	
ブライトネス	画面の明るさを調節します。	
コントラスト	コントラストを調節します。	
コントラスト (AUTO)	コントラストを自動調節します。	
自動調節	左右方向、上下方向の表示位置、水平サイズ、位相を自動調節します。	
左/右	左右方向の表示位置を調節します。	
下/上	上下方向の表示位置を調節します。	
水平サイズ	画面に縦縞が現れるときや左右の画面サイズがあってないときに調節します。	
位相	画面に横方向のノイズが表示されるときに調節します。また、文字がにじんだり、輪郭がはっきりしないときに使用します。	
USER COLOR	色を調節します。あらかじめ設定されている色の設定値を選択します。 設定されている色 (9300 6500 5000 USER) がアイコンで表示されます。	
RED	赤色を調節します。	
GREEN	緑色を調節します。	
BLUE	青色を調節します。	
TOOL	TOOLアイコンを選択すると下記の言語切替、OSDオートオフ、OSDロック、RESOLUTION NOTIFIER、MONITOR INFO.のアイコンに切り替わります。	
	言語切替	OSD画面の表示言語を切り替えます。
	OSDオートオフ	OSD画面が自動的に消えるまでの時間を設定します。
	OSDロック	誤って調節してしまうことを防ぐためのOSDメニュー操作禁止を設定、解除できます。OSDロック状態でも、音量、コントラストとブライトネスは調節可能です。
	xy RESOLUTION NOTIFIER	最適の解像度以外の信号を入力している場合、推奨信号の案内画面を表示する機能をオン/オフします。
	MONITOR INFO.	MODEL (形名)とSERIAL NUMBER (製造番号)を表示します。
	OSD水平表示位置	OSDの左右方向の表示位置を調節します。
	OSD垂直表示位置	OSDの上下方向の表示位置を調節します。
	DDC/CI	DDC/CI通信機能をオン/オフします。 オフの場合「Visual Controller」等による外部からの制御ができなくなります。
	電力メーター表示	電力削減状態を表示します。
	EXIT EXIT	OSDメニューのTOOLアイコンに戻ります。
	オールリセット	音量、ブライトネス、コントラスト、左/右、下/上、水平サイズ、色調節、OSDオートオフを出荷時の状態に戻します。
EXIT	OSD画面を消します。	

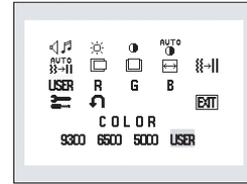
もくじ
ご使用の前に
安全のため
ご使用上の
注意事項
各部分の
使用上の
準備
機能
困った
とき
付録
解用
説明
語
いさ
んく

主なOSD機能

カラー調節

お好みに応じて画面の色合いを調節することができます。

- 9300、6500、5000
色温度調節
あらかじめ設定されている9300、6500、5000の色温度を選択することができます。
- USER
色調節
次のそれぞれの色についての調節ができます。
R：赤色、G：緑色、B：青色
9300、6500、5000 を選択していても、R,G,B どれかを調節するとその時点で選択がUSER に切り替わります。
- リセット
「RESET」 ボタンを押すと調節した値が工場設定に戻ります。



ツール

OSD ロック

OSD ロック画面を表示している状態で、操作をおこないます。

- OSD メニューの操作をロックする
「RESET」 ボタンを押しながら「+」 ボタンを押すと、OSD がロックされ OSD オートオフで設定された時間後にOSD メニューは消えます。
- ロックを解除する
OSD が表示されている状態で、「RESET」 ボタンを押しながら「+」 ボタンを押すとロックが解除されます。



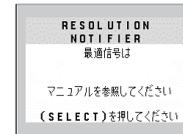
OSDロック設定中のOSD画面

RESOLUTION NOTIFIER

最適の解像度以外の信号を入力している場合、推奨信号の案内画面を表示する機能をオン/ オフします。

右のような画面が表示される場合、これを表示しないようにするためには、オフを選択してください。

操作の手順については、「OSD 画面の基本操作」 →P23 を参考にしてください

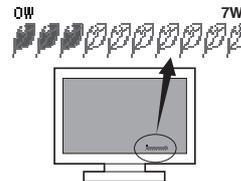


RESOLUTION NOTIFIERの案内画面

電力メーター

電力削減状態を表示します。

- 電力1
電源オン時の積算した電力削減状態を消費電力量で (Wh) で表示します。
- 電力2
パワーマネジメント機能動作時を含む全ての積算した電力削減状態を消費電力量で (Wh) で表示します。
- 電力レベル
電力削減状態のレベルを「+」 「-」 ボタンで調節します。
%の値が大きい方が電力削減状態も大きくなります。
お好みのレベルに設定してください。
- 電力メーター表示 (葉っぱマーク表示)
電力削減状態を電力 (W) と葉っぱマークで表示します。
電力メーターを表示させる場合は、「オン」を選択します。
電力メーターはシースルー調節された透明度で、主OSD画面が消えた後に表示画面の右下に表示されます。
- 電力メーター シースルー
電力メーターの濃さを調節します。
「+」 「-」 ボタンで、調節バーの下部に表示された電力メーターの透明度が変化します。
お好みの透明度に設定してください。



電力メーター設定画面

お知らせ

- 消費電力量 (Wh) の表示をリセットした場合、電力1、電力2共表示が「0」Whに戻ります。
- 電力メーター画面で「RESET」 ボタンを押した後に「+」 ボタンを押すとリセットされます。
なお、オールリセットの実行では「電力1」「電力2」はリセットされません。
- ブライトネスの設定により、電力削減状態が変化します。
- 本機能は、音量の電力には対応していません。
- 表示された消費電力量 (Wh) および電力 (W) の値は目安です。

HOT KEY

HOT KEY

OSD 画面が表示されていないとき各ボタンを押すことで直接調節できます。

- 「-」 ボタンを押すとブライトネス調節画面を表示します。
- 「+」 ボタンを押すと音量調節画面を表示します。

もくじ

ご使用の前に

安全のため

使用上のお願い

各部の取り扱い

使用準備

機能

と困った

付録

解説語

いさく

OSD機能による画面の調節が必要になる場合

工場プリセットPCタイミング

本機は下表に示す種類のタイミングの自動判別をおこない画面情報を設定しますので、コンピューターに接続すると、自動的に適切な画面を表示します。ただし、コンピューターによっては画面にちらつきやじみが生じることがあります。また、入力信号によってはうまく表示できないこともあります。その場合は画面調節 **→P24** をおこなってください。この場合、調節後の画面情報が記憶されます。

<工場プリセットタイミング>

解像度	周波数		備考
	水平	垂直	
640 × 480	31.5kHz	60Hz	
640 × 480	35.0kHz	67Hz	Macintosh
640 × 480	37.9kHz	73Hz	
640 × 480	37.5kHz	75Hz	
720 × 350	31.5kHz	70Hz	
720 × 400	31.5kHz	70Hz	
800 × 600	35.2kHz	56Hz	
800 × 600	37.9kHz	60Hz	
800 × 600	48.1kHz	72Hz	
800 × 600	46.9kHz	75Hz	
832 × 624	49.7kHz	75Hz	Macintosh
1024 × 768	48.4kHz	60Hz	
1024 × 768	56.5kHz	70Hz	
1024 × 768	60.0kHz	75Hz	
1152 × 864	67.5kHz	75Hz	
1152 × 870	68.7kHz	75Hz	Macintosh
1280 × 960	60.0kHz	60Hz	
1280 × 960	75.0kHz	75Hz	Macintosh
1280 × 1024	64.0kHz	60Hz	推奨信号タイミング
1280 × 1024	80.0kHz	75Hz	

- 入力信号の識別は、水平周波数・垂直周波数・同期信号極性・同期信号タイプによりおこなっています。
- 本機は20種類のタイミングを記憶できる機能があります（ユーザーメモリー機能）。記憶させたい信号を入力し、OSD機能でお好みの画面に調節 **→P24** するとタイミングおよび画面情報が自動的に記憶されます。
- 「オールリセット」を実行すると全てのユーザーメモリーに記憶された値が消去されます。
- 本機の周波数は水平周波数：31.5～81.1kHz、垂直周波数：56～76Hz対応となっておりますが、この範囲内であっても入力信号によっては正しく表示できない場合があります。この場合は、コンピューターの周波数、または解像度を変更してください。
- インターレース信号には対応していません。
- 複合同期信号、シンクオングリーン信号には対応していません。

お知らせ

- 本機は解像度1280×1024以外の信号を入力した場合は、文字がにじんだり図形が歪んだりすることがあります。

その他の機能について

ここでは、本機のOSD機能以外の機能について説明しています。

拡大・スモーキングファイン機能

1280ドット×1024ラインより低い解像度の画面を自動的に拡大して表示する機能です。ギザギザ感の少ないなめらかな画像とカケの少ない文字を表示します。

お知らせ

- 入力信号によっては、画面全体に拡大されない場合があります。

簡易表示機能

本機が対応する解像度よりも高い解像度の信号が入力された場合に、自動的に画面を縮小表示する機能です。高解像度ディスプレイを接続することなく、本機が対応する解像度にコンピューターの設定を変更することができます。

お知らせ

- 入力信号によっては、本機能が正常に動作しない場合があります。
- 75Hzより高い垂直同期信号では動作しません。

Plug&Play機能

VESAのDDC (Display Data Channel) 2B規格に対応したコンピューターと接続した場合には、本機の表示画素数、周波数、色特性などの情報をコンピューターが読み出し、本機に最適な画面が自動的に設定されます。詳しくはコンピューターの取扱説明書をご覧ください。

ノータッチオートアジャスト機能 (NTAA: No Touch Auto Adjust)

(800×600以上の解像度のみ)

ユーザーメモリーに記憶されていない種類の信号が入力されると自動調節が実行されます。入力された信号を本機のマイコンが検出し、左右方向の表示位置、上下方向の表示位置、水平サイズおよび位相の自動調節を開始します。自動調節中は「実行中」の文字が表示されます。

お知らせ

- アナログ入力信号 (ミニD-SUBピン) のみ有効です。

パワーマネジメント機能

コンピューターを使用しないときに本機の消費電力を減少させる機能です。

お知らせ

- この機能はVESA DPM対応パワーマネジメント機能を搭載しているコンピューターと接続して使用する場合にのみ機能します。

パワーマネジメント機能が作動している場合の消費電力と電源ランプの点灯状態は以下の通りです。

モード	消費電力	電源ランプ
通常動作時	26W	緑色点灯
スリープモード時	0.5W以下 (AC100V時)	橙色点灯

水平または垂直同期信号がOFF状態になっているにもかかわらず、ビデオ信号 (R, G, B) が出力されているようなコンピューターについては、パワーマネジメント機能が正常に作動しない場合があります。

お知らせ

- キーボードの適当なキーを押すかマウスを動かすと、画面が復帰します。画面が復帰しない場合は、信号ケーブルが外れているかコンピューターの電源が「切」になっていることが考えられますので、ご確認ください。

故障かな？と思ったら

表示されないときは…

このようなときは、チェックしてください。

症状	状態	原因と対処	参照
画面に何も映らない	電源ランプが点滅している場合	本機の故障である可能性があります。販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。	P33
	電源ランプが点灯しない場合	電源スイッチが入っていない可能性がありますので、確認してください。	P10
		電源コードが正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	P17 P18
		電源コンセントに正常に電気が供給されているか、別の機器で確認してください。	
		電源コードをコンピューターの本体のコンセントに接続している場合は、コンピューターの電源を入れていない可能性があります。コンピューターの電源が入っているか確認してください。	
	電源ランプが緑色に点灯している場合	「SELECT」ボタンを押してOSD画面を表示し、以下の項目を確認してください。	P10
		● OSD画面が表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。	P33
		● 正常な状態でOSD画面が表示されれば故障ではありません。「ブライトネス」と「コントラスト」を調節してください。	P24
		● OSD画面が正常に表示され、「ブライトネス」と「コントラスト」を調節してもコンピューターの画面が表示されない場合は、コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P14 P26
	電源ランプが橙色に点灯している場合	パワーマネジメント機能が作動している可能性があります。キーボードの適当なキーを押すか、マウスを動かしてください。	P27
信号ケーブルが本機またはコンピューターのコネクタに正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。		P14	
変換アダプターが正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。		P14	
コンピューターの電源が入っていない可能性がありますので、確認してください。			
突然画面が表示されなくなった	正常に表示されていた画面が、暗くなったり、ちらつくようになったり、表示しなくなった場合※	新しい液晶パネルとの交換が必要です。販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。	P33

※ 液晶ディスプレイに使用している蛍光管（バックライト）には寿命があります。

表示がおかしいときは…

症状	状態	原因と対処	参照
表示状態がおかしい	画面上に黒点 (点灯しない点) や輝点 (点灯したままの点) がある	液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	P9
	画面表示の明るさにムラがある	表示内容によってはこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
	画面に薄い縦縞の陰が見える	表示内容によってはこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
	細かい模様を表示するとちらつきやモアレが生じる	細かい模様を表示するとこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
	線の太さなどがぼやける	推奨タイミング (1280x1024) 以外の解像度の画像を表示すると、このような症状が生じることがありますが、故障ではありません。コンピュータの出力タイミング1280x1024に設定してください。 または、OSD画面により「シャープネス」を調節すると軽減できる場合があります。また、「自動調節」を実行すると軽減できる場合があります。	P21
	表示エリア外の非表示部分に「残像」が生じる	表示エリアが画面いっぱいでない場合、長時間表示すると、このような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	P8
	画面を見る角度によって色がおかしい	視野角 (画面を見る角度) によっては、色相の変化が大きくなります。本機の画面の角度を調節してください。	P39
	画面の表示状態が変わっていく	液晶パネルは蛍光灯を使用しているため、使用時間の経過に伴い表示状態が少しずつ変化します。また周囲の温度によっては画面の表示状態に影響を受けることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
画面を切り替えても前の画面の像が薄く残っている	長時間同じ静止画面を表示すると、このような「残像」という現象が起こることがあります。液晶パネルの特性によるもので故障ではありません。 電源を切るか変化する画面を表示していれば像は徐々に薄れていきます。	P8	

もくじ
ご使用に
め安全のた
お使用上の
は各部分の
使用準備
機能
とき
付録
解用説語
いさんく

表示がおかしいときは…

症 状	状 態	原因と対処	参照
表示状態がおかしい	表示色がおかしい	OSD 画面を表示し、以下の項目を確認してください。	P24
		● OSD画面が正常に表示されない場合は故障の可能性があります。 販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。	P33
		● 正常な状態でOSD画面が表示されれば故障ではありません。 「カラー調節」を選択し、お好みで色の割合を調節してください。または、「RESET」ボタンで工場設定に戻してください。	P24
		● OSD 画面が正常に表示され、「カラー調節」を調節してもコンピューターの画面が正常に表示されない場合は、コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P14 P26
	画面がちらつく (分配器を使用している場合)	分配器を中継させず、コンピューターと直接接続してください。	P14
	画面がちらつく (上記以外の場合)	OSD 画面を表示し、以下の項目を確認してください。	P24
		● OSD画面が正常に表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。	P33
		● 正常な状態でOSD画面が表示されれば故障ではありません。 「画面調節」の「位相」を選択し調節してください。	P24
		● OSD 画面が正常に表示され、「位相」を調節してもコンピューターの画面が正常に表示されない場合は、コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P14 P26

もくじ

ご使用の前に

安全のため

お使用上の

各部の

使用準備

機能

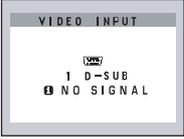
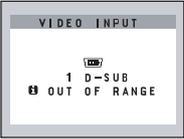
困ったとき

付録

解用説語

いさく

案内画面／注意画面が表示されたら…

症状	原因	対処	参照
画面に「NO SIGNAL」が表示された！※1 	信号ケーブルが本機またはコンピュータのコネクタに正しく接続されていない可能性があります。	信号ケーブルを本機およびコンピュータのコネクタに正しく接続してください。	P14
	信号ケーブルが断線している可能性があります。	信号ケーブルが断線していないか確認してください。	
	電源ランプが橙色に点灯している場合は、コンピュータの電源が切れている可能性があります。	コンピュータの電源が入っているか確認してください。	
	コンピュータのパワーマネジメント機能が作動している可能性があります。	マウスを動かすかキーボードのキーを押してください。	P27
画面に「OUT OF RANGE」が表示された！※2 	本機に適切な信号が入力されていない可能性があります。	本機に適切な信号が入力されているか確認してください。入力周波数またはコンピュータの解像度を変更してください。	P26
	本機の対応する解像度よりも高い解像度の信号を入力しています。	入力周波数またはコンピュータの解像度を変更してください。	P26
画面に「RESOLUTION NOTIFIER」が表示された！ 	ご使用のコンピュータから出力されている解像度の信号が推奨サイズ以外に設定されています。	コンピュータ本体の解像度を1280×1024にしてください。そのままの解像度をお使いでこれを表示させたくない場合は、RESOLUTION NOTIFIERをオフ（非表示）に設定してください。	P26

- ※1 コンピュータによっては、解像度や入力周波数を変更しても正規の信号がすぐに出力されないため、注意画面が表示されることがありますが、しばらく待つて画面が正常に表示されれば、入力信号は適正です。
- ※2 コンピュータによっては電源を入れても正規の信号がすぐに出力されないため、注意画面が表示されることがありますが、しばらく待つて画面が正常に表示されれば入力信号の周波数は適正です。

その他

症状	原因	対処	参照
解像度や色数を変更ができない／固定されてしまう	うまく信号が入出力できないことがまれにあります。	本機とコンピュータの電源をいったん切り、もう一度電源を入れ直してください。	P10
	Windows®をご使用の場合は、Windows®セットアップのインストールが必要な可能性があります。	当社のホームページからWindows®セットアップをダウンロードしてコンピュータにインストールしてください。	P22
	Windows®セットアップをインストールしても設定の変更が不可能な場合、またはWindows®以外のOSをご使用の場合は、グラフィックボードのドライバーがOSに正しく認識されていない可能性があります。	グラフィックボードのドライバーを再インストールしてください。再インストールに関しては、コンピュータの取扱説明書をご参照いただくか、コンピュータのサポート機関にお問い合わせください。	
スピーカーから音が出ない！	オーディオケーブルが本機またはコンピュータのコネクタに正しく接続されていない可能性があります。	オーディオケーブルを本機およびコンピュータのコネクタに正しく接続してください。	P14
	ヘッドホンがつながっている場合、スピーカーから音は出ません。	ヘッドホンを外してください。	P16
	音量が最小になっている。または、MUTE(消音)機能が働いている可能性があります。	OSDメニューの「  」で音量を調節、または「1⇄2/RESET」ボタンを押してMUTEをOFFにしてください。	P24

もくじ
ご使用の前に
安全のため
お使用上の
各部分の

使用の準備

機能

困ったとき

付録

解用説語

いさく

本機を廃棄するには？（リサイクルに関する情報）

当社は環境保護に強く関わっていきます。環境に対する影響を最小限にするために、リサイクルシステムを会社の最重要課題の一つとして考えております。また、環境に優しい製品の開発と常に最新のISOやTCOの標準に従って行動するよう努力しています。当社の使用済みディスプレイのリサイクルシステムの詳細については当社インターネットホームページをご覧ください。

www.MitsubishiElectric.co.jp/home/display/env.html

なお、資源有効利用促進法に基づく当社の使用済みディスプレイのリサイクルのお申し込みは下記へお願いします。

情報機器リサイクルセンター	
家庭系（個人ユーザー様）の窓口	事業系（法人ユーザー様）の窓口
TEL 03-3455-6107 www.pc-eco.jp	TEL 03-3455-6106 www.diarcs.com
受付時間 土・日・祝日を除く 午前9:00～12:00 午後1:00～5:00 また、これ以外の所定の休日につきましても休ませていただきますので、ご容赦願います。	

ディスプレイの回収・リサイクル

資源有効利用促進法に基づき、家庭から出される使用済みディスプレイの回収・リサイクルをおこなう“PCリサイクル”が2003年10月より開始されました。当社ではこれを受け、回収・リサイクル体制を構築し、2003年10月1日より受付しております。2003年10月以降購入されたディスプレイのうち、銘板に“PCリサイクル”が表示されている製品は、ご家庭からの排出時、当社所定の手続きにより新たな料金負担なしで回収・リサイクルいたします。事業者から排出される場合は、産業廃棄物の扱いとなります。

個人で、ご購入いただいたお客様のPCリサイクルシール申込

下記のリサイクル窓口ホームページより、お申し込みいただければ“PCリサイクルシール”を無償でお送りいたします。

リサイクル窓口ホームページ；

www.pc-eco.jp

画面の からお入りください。

ご注意：

法人（事業者）のお客様で、ご購入頂いた三菱ディスプレイは、PCリサイクルマーク対象外です。シールが貼付けられていても廃棄時は産業廃棄物としての扱いとなります。

もくじ

ご使用の前に

安全のために

お使用上の

各部分の

使用準備

機能

困ったとき

付録

解用説語

いさく

保証とアフターサービス/個人情報の取り扱い

保証とアフターサービス

- この製品には保証書を添付しています。保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。内容をよくお読みのおと、大切に保存してください。
- 保証期間経過後の修理については、お買上げの販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- この液晶ディスプレイは日本国内用として製造・販売しています。日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。またこの製品に関する技術相談、アフターサービス等も日本国外ではおこなっていません。
This color monitor is designed for use in Japan and can not be used in any other countries.

技術相談窓口 (携帯電話・PHS通話可 / IP電話不可)	修理相談窓口 (携帯電話・PHS通話可 / IP電話不可)
☎ フリーダイヤル 0120-71-3322	☎ フリーダイヤル 0120-08-1460
受付時間 土・日・祝日を除く 午前9:00～12:00 午後1:00～5:00 また、これ以外の所定の休日につきましても休ませていただきますので、ご容赦願います。	

アフターサービスを依頼される場合はつぎの内容をご連絡ください。

- お名前
 - ご住所 (付近の目標など)
 - 電話番号
 - 品名：三菱液晶ディスプレイ
 - 形名：RDT1710LM / RDT1710LM (BK)
 - 製造番号 (本機背面のラベルに記載)
 - 故障の症状、状況など (できるだけ詳しく)
 - 使用状況 (PCおよびグラフィックボード (メーカー、形名)、解像度、入力信号 (アナログ、デジタル) など)
 - 購入年月日または使用年数
- 無料出張サービス規定
この製品をお買上げから1年間は「修理相談窓口」にてディスプレイに起因する障害で修理が必要と判断された場合、無料出張サービスを適用します。その際、同梱の保証書の提示をお願いします。提示がない場合は、保証期間中でも有料となります。出張サービスは、日本国内のみ対応します。代替セット(現品とは異なる場合があります。)を無料でお貸しし、現品の持ち帰り修理になります。一部の地域で宅配業者の引き取りサービスになる場合があります。

個人情報の取り扱い

- お問合せ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて
三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。
 1. お問合せ (ご依頼) いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的並びに製品品質・サービス品質の改善・製品情報のお知らせに利用します。
 2. 上記利用目的のために、お問合せ (ご依頼) 内容の記録を残すことがあります。
 3. あらかじめお客様からご了承をいただいている場合及び下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示する事はありません。
 - ① 上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
 - ② 法令等の定める規定に基づく場合。
 4. 個人情報に関するご相談は、お問合せをいただきました窓口にご連絡ください。

もくじ

ご使用にの

め安に全のた

お使用上の

は各た部のき

使用準の備

機能

と困った

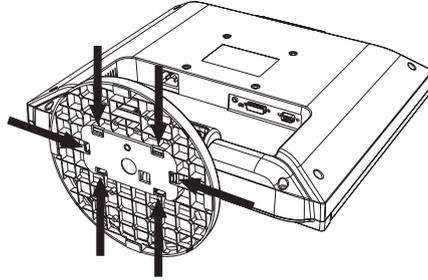
付録

解用説語

いさく

再梱包するとき

再梱包の際は次の手順でベーススタンドを取り外してください。
水平な机の上に本体表示部を下になるように置いてください。図のように矢印方向に指でつめを押して外してください。
つめを6カ所を外すと本体からベーススタンドを取り外すことができます。



⚠ 注意

表示部を下向きに置く際に表示部の下に物を置かないでください。また、突起など無いことを確認し表示部を傷つけないように注意してください。

つめを外す際に指をはさまないように注意してください。

お願い

● 作業は、平らで安定した場所に柔らかい布を敷き、液晶パネルを傷つけないようにしてください。

もくじ

ご使用の
前に

安全の
ための

使用上の
お願い

各
部の
は

使用
準備

機能

困
った
とき

付
録

解
説
用
語

い
さ
ん
く

市販のアームを取り付けるとき

本機にはVESA 規格に準拠した（100 mmピッチ）市販のアームを取りつけることができます。

お願い

- アームは本機を支えるのに十分なものを選んでください。（本機のディスプレイ部の質量は約3.7kgです。）

お知らせ

- 本機は、スタンドを取り付けた状態で各種規格要求事項を満足しております。

- 1 本機、コンピューターおよび周辺機器の電源を切ってから、信号ケーブル、電源ケーブルを取り外す
スタンドと床が平行になるように、平らで安定した場所に柔らかい布を敷き、液晶パネルを下向きにして置きます。

- 2 スタンドを取りつけている2本のネジA[※]を取り外し、スタンドを引き抜く

- 3 次にスタンドを取りつけていたネジ部の下側2本のネジB[※]を取り外す

お願い

- スタンドを取りつける場合は、逆の手順でおこないます。その際は必ずスタンド取り付けに使用していたネジA[※]、B[※]を使ってください。それ以外のネジを使用した場合は、本機が故障する原因になる恐れがあります。
- ネジを締めつける際はつけ忘れに注意し、すべてのネジをしっかりと締めつけてください。なお、スタンドの取り付けはお客様の責任においておこなうものとし、万一事故が発生した場合、当社はその責任を負いかねますのでご了承ください。
※緩み止めスプリングワッシャ付きネジM4-12（右図参照）

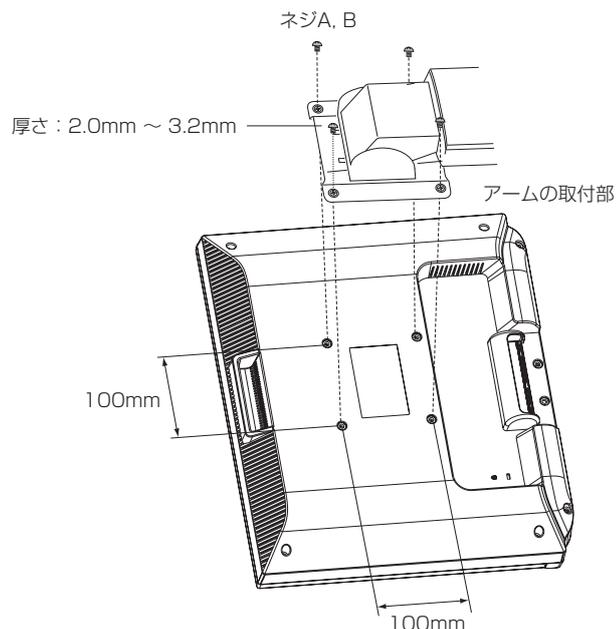
- 4 ディスプレイ背面のアーム取付け部に締め付けられている4本のネジを外し、スタンド取り付けに使用していたネジA、Bを使って、下記仕様のアームを取り付ける。

取付可能アーム：

取付部厚み 2.0mm ~ 3.2mm

VESA 規格準拠 100 mmピッチ

ネジゆるみ防止のためすべてのネジをしっかりと締めつけてください。（ただし、締めつけすぎるとネジがこわれることがあります。98 ~ 137N・cmが適切な締め付けトルクです。）



※ 上記アームの取付部形状は参考例です。

もくじ

ご使用の前に

安全のため

ご使用上のお願い

各部の取り付け

使用標準の準備

機能

と困った

付録

解用説語

いさく

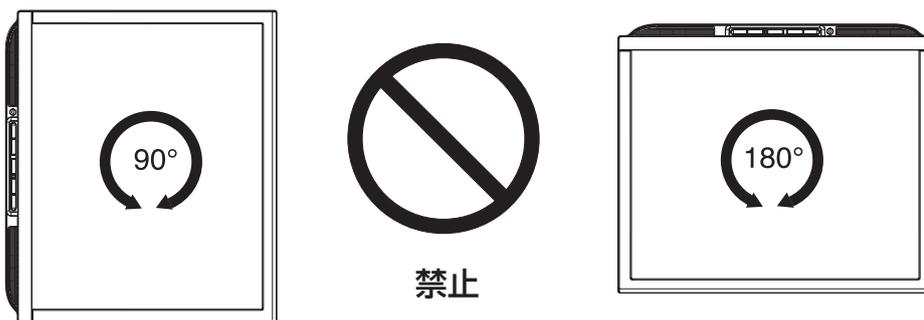
⚠ 注意

落下防止のために

- 液晶ディスプレイを倒したまま固定できないときは、2人以上で取り付け作業をおこなってください。落下してけがの原因となります。
- 取り付け作業をおこなう前に、アームの取扱説明書を必ず読んでください。また、地震などでの製品の落下によるけがなどの危害を軽減するために、設置場所などは必ずアームメーカーへご相談ください。万一、地震などで落下の恐れがある場所での就寝はしないでください。
- アームの取り付けはお客様の責任においておこなってください。万一事故が発生した場合でも、当社はその責任を負いかねますのでご了承ください。

火災や感電防止のために

- アームを取りつける際は、必ず下記に示すネジを使ってください。それ以外のネジを使用した場合は、本機が故障したり火災や感電の原因になる恐れがあります。緩み止めスプリングワッシャ付き M4 ネジ（長さ 12-14mm）
- アームを取り付けてご利用される場合でも、90° 回転や 180° 回転した状態でご使用しないでください。内部に熱がこもり、火災や感電の原因になります。



もくじ

ご使用前に

安全のため

使用上のお願い

各部の寸法

使用上の準備

機能

困ったとき

付録

用語解説

いさく

ここでは、本書で使用している専門的な用語の簡単な解説をまとめてあります。また、その用語が主に使用されているページを掲載しておりますので、用語から操作に関する説明をお探しいただけます。

DDC 2B 規格 (Display Data Channel) **P27**

VESAが提唱する、ディスプレイとコンピューターとの双方向通信によってコンピューターからディスプレイの各種調節機能を制御する規格です。

DDC/CI 規格 (Display Data Channel Command Interface)

ディスプレイとコンピューターの間で、設定情報などを双方向でやり取りできる国際規格です。

DPM (Display Power Management) **P27**

VESA が提唱する、ディスプレイの省エネルギー化に関する規格です。DPM では、ディスプレイの消費電力状態をコンピューターからの信号により制御します。

DVI-A端子 (Digital Visual Interface-Analogue) **P14**

アナログ入力のみに対応しているDVI端子です。

DVI-D端子 (Digital Visual Interface-Digital) **P14**

デジタル入力のみに対応しているDVI端子です。

DVI-I端子 (Digital Visual Interface-Integrated) **P14**

デジタル入力とアナログ入力の両方に対応しているDVI端子です。どちらかの入力を接続するケーブルあるいは変換アダプターによって使い分けが可能となります。

Plug&Play **P27**

Windows®で提唱されている規格です。ディスプレイをはじめとした各周辺機器をコンピューターに接続するだけで設定をせずにそのまま使えるようにした規格のことです。

RESOLUTION NOTIFIER **P24 P31**

最適な解像度以外の信号をコンピューターで設定している場合に、推奨信号の案内を画面に表示する機能です。

VESA 規格 (Video Electronics Standards Association) **P11 P35**

ビデオとマルチメディアに関連する標準の確立を目的として提唱された規格です。

位相 **P24 P30**

アナログ映像信号のA/D変換用サンプリングクロックの位相調節機能です。これを調節することにより、文字のにじみや横方向のノイズをなくしたりすることができます。

国際エネルギースタープログラム **P4 P39**

デスクトップコンピューターの消費電力を節減するために、米国の環境保護局（EPA：Environmental Protection Agency）が推し進めているプログラムのことです。

もくじ

ご使用
前にの

め安全
・の
・た

お使用
願いの

は各部
のた
き

使用
準の
備

機能

と困
き
った

付録

解用
説語

いさ
んく

応答速度 **P39**

表示している画面を変化させたときの画面の切り替わりの速さ（追従性）のことで、数値が小さいほど応答速度は速くなります。応答速度は黒→白→黒の階調変化に要する時間の合計です。

輝度 **P39**

単位面積あたりを表示する明るさを示す度合いのことで、数値が高いほど表示画面が明るくなります。

コントラスト比 **P39**

白と黒の明るさの比率を示す比率のことで、輝度が同じであれば、数値が大きくなるほど画面にメリハリが出ます。

残像 **P8 P29**

残像とは、長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面表示が残る現象ですが故障ではありません。残像は、画面表示を変えることで徐々に解消されますが、あまり長時間同じ画面を表示すると残像が消えなくなりますので、同じ画面を長時間表示するような使い方は避けてください。「スクリーンセーバー」などを使用して画面表示を変えることをおすすめします。またディスプレイを使用しないときは、パワーマネジメント機能（パワーセーブ）を使ったり、電源ボタンを操作して電源を切ることをおすすめします。

視野角 **P29 P39**

斜めから見た場合など、正常な画像が見られる角度のことで、数値が大きいほど広い範囲から画像が見られます。

水平周波数／垂直周波数 **P26 P39**

水平周波数：1秒間に表示される水平線の数のことで、水平周波数 31.5kHz の場合、1秒間に水平線を 31,500 回表示するということです。

垂直周波数：1秒間に画面を何回書き換えているかを表します。垂直周波数が 60Hz の場合、1秒間に画面を 60 回書き換えているということです。

チルト角度 **P19 P39**

チルト角度：ディスプレイ画面を前後に動かせる角度のことです。

ノータッチオートアジャスト／NTAA (No Touch Auto Adjust) **P27**

コンピューターから新しい信号を受信するたびに自動的に画面を最適な状態にする機能です。

パワーマネジメント機能 **P27**

コンピューターの消費電力を低減するために組み込まれた機能です。コンピューターが一定時間使用されていない（一定時間以上キー入力がないなど）場合に、電力消費を低下させます。再度コンピューターが操作されたときには、通常の状態に戻ります。

表示画素数／解像度 **P26 P39**

一般的には「解像度」と呼ばれています。1画面あたりの横方向と縦方向の画素の数を表します。表示画素数が大きいほど多くの情報量を表示することができます。

仕様

形名		RDT1710LM / RDT1710LM (BK)	
液晶パネル ※1	サイズ (表示サイズ)	17 型 (43.2cm)	
	液晶方式	TN、表面処理：ノングレア (反射防止)	
	有効表示領域	338 × 270mm	
	表示画素数	1280 × 1024	
	画素ピッチ	0.264mm	
	表示色	約1677 万色	
	視野角 (標準値)	左右170°、上下160° (コントラスト比 10)	
	輝度 (標準値)	250cd/m ²	
	コントラスト比	800 : 1	
	応答速度	5ms	
PC入力	水平周波数	31.5 ~ 81.1kHz	
	垂直周波数	56 ~ 76Hz	
	ビデオ信号	アナログRGB	
	同期信号	セパレート同期信号 (TTL)	
	信号入力コネクタ	ミニD-SUB15 ピン	
音声入出力	入力コネクタ	φ3.5mm ステレオミニジャック	
	スピーカー	1W+1W (ステレオ)	
	ヘッドホン	φ3.5mm ステレオミニジャック	
適合規格等 ※2	安全	UL60950-1、c-UL	
	不要輻射	VCCI-B、低周波電磁界ガイドライン、FCC/DOC、CE、MPRIII	
	省エネルギー基準	国際エネルギースタープログラム、	
	エルゴノミクス	ISO 13406-2 (準拠)、TCO' 03	
	プラグ&プレイ	VESA DDC2B	
	その他	PCグリーンラベル(2008年度版)、グリーン購入法、J-Moss、DDC/CI、Windows® XP、Windows Vista® Basic	
使用環境条件	温度	5 ~ 35℃	
	湿度	30 ~ 80% (結露のないこと)	
電源	電源入力	AC100-240V 50/60Hz	
	消費電力	標準	26 W
		省エネモード	スリープモード時：0.5W 以下(AC100V時) オフモード時：0.35W 以下(AC100V時)
	電源入力コネクタ	3P IEC タイプ	
質量	ディスプレイ 本体	スタンド含む	約3.9kg
		スタンドなし	約3.7kg
	梱包状態 (質量/寸法)	約5.0kg / 436 (W) × 450 (H) × 148 (D) mm	
チルト角度 / スイバー角度 / ブロック高さ調節	上20°、下5° / 無し		
外形寸法			

お知らせ

- ※1 本機は、解像度1280x1024以外の信号を入力した場合、信号によって文字がにじんだり図形が歪んだりすることがあります。
 ※2 本機は、スタンドを取り付けた状態で各種規格要求事項を満足しております。

もくじ

ご使用の前に

安全のため

使用上のお願い

各部の取り扱い

使用の準備

機能

と困った

付録

解用説語

いさく

お買い上げいただいた本製品はスウェーデンの労働団体(TCO)が定めた環境規格TCO '03ガイドラインに適合しています。TCO '03ガイドラインは、画面品質、環境保護、低周波漏洩電磁界、安全性、省電力、リサイクル性等、広い分野にわたって規定しています。以下の英文は、TCOが適合製品に英文で添付することを定めた環境文書で、TCO '03ガイドラインの目的および環境要求の概要を記述しています。

TCO Development



Congratulations!

The display you have just purchased carries the TCO'03 Displays label. This means that your display is designed, manufactured and tested according to some of the strictest quality and environmental requirements in the world. This makes for a high performance product, designed with the user in focus that also minimizes the impact on our natural environment.

Some of the features of the TCO'03 Display requirements:

Ergonomics

- Good visual ergonomics and image quality in order to improve the working environment for the user and to reduce sight and strain problems. Important parameters are luminance, contrast, resolution, reflectance, colour rendition and image stability.

Energy

- Energy-saving mode after a certain time - beneficial both for the user and the environment
- Electrical safety

Emissions

- Electromagnetic fields
- Noise emissions

Ecology

- The product must be prepared for recycling and the manufacturer must have a certified environmental management system such as EMAS or ISO 14001
- Restrictions on
 - chlorinated and brominated flame retardants and polymers
 - heavy metals such as cadmium, mercury and lead.

The requirements included in this label have been developed by TCO Development in cooperation with scientists, experts, users as well as manufacturers all over the world. Since the end of the 1980s TCO has been involved in influencing the development of IT equipment in a more user-friendly direction. Our labelling system started with displays in 1992 and is now requested by users and IT-manufacturers all over the world.

For more information, please visit
www.tcodevelopment.com

もくじ

ご使用の前に

安全のため

使用上のお願い

各部分のき

使用の準備

機能

困ったとき

付録

用語解説

いさく

FCC Information

1. Use the attached specified cables with this equipment so as not to interfere with radio and television reception.
 - (1) The power supply cord you use must have been approved by and comply with the safety standards of U.S.A.,
 - (2) Please use the supplied shielded video signal cable. Use of other cables and adapters may cause interference with radio and television reception.

2. This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy, and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:
 - Reorient or relocate the receiving antenna.
 - Increase the separation between the equipment and receiver.
 - Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
 - Consult your dealer or an experienced radio/TV technician for help.

If necessary, the user should contact the dealer or an experienced radio/television technician for additional suggestions. The user may find the following booklet, prepared by the Federal Communications Commission, helpful: "How to Identify and Resolve Radio-TV Interference Problems." This booklet is available from the U.S. Government Printing Office, Washington, D.C., 20402, Stock No. 004-000-00345-4.

Declaration of Conformity

This device complies with Part 15 of FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions. (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

U.S. Responsible Party:	Mitsubishi Digital Electronics America, Inc.
Address:	9351 Jeronimo Road, Irvine, California 92618 U.S.A.
Tel. No.:	+1-(949)465-6000
Type of Product:	Display Monitor
Equipment Classification:	Class B Peripheral
Model:	RDT1710LM(AB623) RDT1710LM(BK)(AB623)



We hereby declare that the equipment specified above conforms to the technical standards as specified in the FCC Rules.

- もくじ
- ご使用の前に
- 安全のため
- お使用上のお願い
- 各部のき
- 使用準備
- 機能
- と困った
- 付録
- 解用説語
- いさく

天数字

Apple Macintosh シリーズ	4, 15
FCC	39, 41
OSD	
OSD 画面	24 ~ 25
OSD 操作	23 ~ 25
画面の調節をする	20
自動調節をする	21
Windows® セットアップ	22

と

安全のために必ず守ること	5 ~ 7
案内画面/注意画面	
NO SIGNAL	31
OUT OF RANGE	31
RESOLUTION NOTIFIER	20, 25, 31
位相	24, 30, 37
応答速度	38, 39

か

回収	32
解像度	26, 29, 31, 38
各部の名称	
ケーブルホルダー	11, 17
信号入力コネクタ	11, 14, 15, 39
ベーススタンド	4, 13, 34
操作ボタン	→ 操作ボタン
電源入力コネクタ	11, 17
電源ランプ	10, 27, 28
盗難防止用ロック穴	11
本体正面	10
本体背面	11
画面	
OSD 画面	→ OSD
工場プリセットタイミング	26
規格	
DDC 2B 規格	27, 37
DDC CI 規格	37
DPM	27, 37
Plug&Play	27, 37
TCO'03	39, 40
VESA 規格	11, 35, 37
輝度	28, 38
機能	
NTAA (No Touch Auto Adjust)	27, 38
OSD 機能	24, 25, 26
Plug&Play 機能	27, 37
RESOLUTION NOTIFIER	20, 31, 37
拡大・スムージングファイン機能	27
簡易表示機能	27
ノータッチオートアジャスト機能	
→ 機能: NTAA	
パワーマネージメント機能	27, 38
レゾリューションノーティファイヤ	
→ 機能: RESOLUTION NOTIFIER	
画面調節	20, 24
カラー調節	24, 25
自動調節	21
コネクタ	→ 各部の名称/接続
困ったとき	28 ~ 31
NO SIGNAL	31

OUT OF RANGE	31
RESOLUTION NOTIFIER	20, 25, 31
アフターサービス	33
解像度	18, 19, 28, 38
画面に何も映らない	28
暗い/表示しない	29
黒点/輝点	29
故障かな?と思ったら...	28 ~ 31
最適信号	26
残像	7, 29, 38
修理相談窓口	33
スピーカーから音が出ない!	31
ちらつき	30
電源ランプ	10, 27
バックライト	28
表示がおかしい	29
表示されない	28, 29
表示色	39
分配器	30
コントラスト比	27, 38

さ

残像	→ 困ったとき
視野角	21, 28, 38
周波数	26, 28 ~ 31, 38, 39
修理相談窓口	33
仕様	39
応答速度	38, 39
外形寸法	39
解像度	18, 19, 28, 38
画素ピッチ	39
輝度	28, 38
コントラスト比	27, 38
質量	39
視野角	21, 28, 39
周波数	26, 28 ~ 31, 38, 39
使用環境条件	39
消費電力	27, 39
チルト角度	19, 38, 39
適合規格等	39
同期信号	39
ビデオ信号	39
表示画素数	38, 39
表示色	39
有効表示領域	39
垂直周波数	26, 38, 39
水平サイズ	21, 24, 27
水平周波数	26, 38, 39
接続	
アナログ接続	15
コネクタとケーブルの対応表	15
角度を調節する	19
信号ケーブルを接続する	14
接地 (アース)	18
電源を入れる	21
電源を接続する	18
ヘッドホンの接続	16
変換アダプター	14, 28
ミニ D-SUB15 ピン	4, 14, 15
画面調節	20, 21
自動調節をする	21
操作ボタン	
+ ボタン	10, 21, 23, 25
- ボタン	10, 21, 23, 25
RESET ボタン	10, 21, 23, 25, 31
SELECT ボタン	10, 21, 23

電源スイッチ → 電源

た〜な

タイミング	26
端子	11
調節項目	24, 25
HOT KEY	25
OSD オートオフ	24, 25
OSD ロック	24, 25
RESOLUTION NOTIFIER	20, 25, 31
位相	24, 30, 37
オートコントラスト	21, 24
オールリセット	24
言語切替	24
コントラスト	24
下/上	24
自動調節	21, 24
水平サイズ	24
左/右	24
ブライトネス	24
チルト角度	19, 38, 39
テストパターン	21, 22
電源	
アースリード線	18
電源コード	4, 11, 17, 18
電源スイッチ	10, 28
電源電圧	18
電源プラグ	18
電源容量	17
同期信号	26, 27, 39

は〜わ

廃棄する	32
ビデオ信号	27, 39
表示画素数	27, 38, 39
付属品	4
オーディオケーブル	4, 16
ケーブルホルダー	11, 17
信号ケーブル	4, 14, 15
セットアップガイド	4
電源コード	→ 電源
ベーススタンド	4, 13, 34
保証書	4, 33
付録	32
本機を廃棄するには?	32
保証とアフターサービス	33
個人情報の取り扱い	33
再梱包するとき	34
市販のアームの取り付けかた	35
用語解説	37, 38
ユーザーメモリー機能	26

もくじ

ご使用の前に

安全のため

使用上の

各部の

使用の

機能

と困った

付録

解用説語

いさく



本社 〒100-8310 東京都千代田区丸の内2丁目7番3号（東京ビル）

AW-P0532A